



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL <https://www.sr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平山 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報室 (氏名) 太田 吉信 (TEL) 052-413-6820
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,953	20.8	1,767	33.2	1,778	32.8	963	5.0
2022年3月期第3四半期	13,200	12.5	1,326	37.2	1,339	35.5	916	35.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 865百万円(△4.5%) 2022年3月期第3四半期 907百万円(33.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	115.27	—
2022年3月期第3四半期	109.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,137	8,498	64.5
2022年3月期	12,884	8,134	63.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,485百万円 2022年3月期 8,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

本日(2023年1月31日)に公表いたしました「2023年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,171	15.0	2,287	10.0	2,316	9.5	1,221	△18.1	146.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	8,360,000株	2022年3月期	8,360,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,008株	2022年3月期	1,928株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	8,358,024株	2022年3月期3Q	8,358,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	8
生産、受注及び販売の状況	
① 生産実績	8
② 外注実績	8
③ 仕入実績	8
④ 受注実績	9
⑤ 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな生活様式への移行が進められる中、政府による旅行支援策や水際対策の緩和などにより、徐々に経済社会活動の正常化が進み、景気は持ち直しの兆しがみられました。一方でエネルギー価格や原材料価格の高騰と記録的な円安、世界的な金融引き締めによる為替変動など、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

このような中、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省より発表された「特定サービス産業動態統計」によると、2022年11月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比7.1%増と8か月連続の増加となりました。内訳では主力の「受注ソフトウェア」は同8.7%増加、「ソフトウェアプロダクト」は同3.8%増加、「システム等管理運営受託」は同7.1%の増加となり、ウィズコロナを見据えた事業構造の変革や、競争力強化に向けての製品開発やDX（デジタルトランスフォーメーション）投資の動きが継続し、IT投資意欲が引き続き旺盛であることを示しております。

こうした経営環境の中、当第3四半期連結累計期間においては、当社の主要顧客である自動車関連や電気機器製造業、金融業や運輸業などからのIT投資需要が堅調に推移し、SIサービス業務の売上高は6,102百万円（前年同期比18.5%増）となりました。また、ソフトウェア開発業務の売上高は、既存顧客からの継続受注を安定的に確保できたことや、昨年1月にゼネラルソフトウェア株式会社を子会社化したことにより、9,188百万円（前年同期比23.3%増）となりました。一方、パッケージソフト販売等のソフトウェアプロダクト業務におきましては、売上高は235百万円（前年同期比2.7%減）となりました。商品販売ではパソコン・情報機器、ソフトウェア等の商品仕入れ販売の売上高276百万円（前年同期比25.0%増）、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス（SaaS）等での売上高は、新規オンラインショップ開設数が増えたことから151百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

利益面におきましては、顧客企業のIT投資は堅調に推移し、技術者稼働率も高稼働を維持した結果、営業利益率は11.0%と前年同期比1.0%改善しました。また、高収益の案件を受注出来たことや、PRM（プロジェクト・リスク・マネジメント）活動により利益改善に繋がりました。一方、確定給付企業年金制度から確定拠出年金制度へ移行したことに伴い、特別損失として退職給付制度終了損363百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高15,953百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益1,767百万円（前年同期比33.2%増）、経常利益1,778百万円（前年同期比32.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益963百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、退職給付に係る資産が減少したものの、現金及び預金が増加したことなどにより、13,137百万円（前期末比253百万円増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金が増加したものの、未払法人税等、および賞与引当金が減少したことなどにより、4,639百万円（前期末比110百万円減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、8,498百万円（前期末比364百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、2022年10月25日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,349,386	7,291,223
売掛金及び契約資産	3,972,392	3,824,832
商品	1,886	3,463
貯蔵品	5,265	5,319
その他	87,126	69,663
貸倒引当金	△384	△370
流動資産合計	10,415,672	11,194,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	397,730	381,002
土地	540,661	540,661
その他（純額）	37,879	25,778
有形固定資産合計	976,272	947,443
無形固定資産		
のれん	311,288	262,137
ソフトウェア	112,650	131,281
その他	7,128	6,988
無形固定資産合計	431,066	400,407
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	505,364	—
その他	556,281	595,767
投資その他の資産合計	1,061,645	595,767
固定資産合計	2,468,984	1,943,618
資産合計	12,884,657	13,137,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	821,770	846,835
短期借入金	—	330,000
1年内返済予定の長期借入金	780,562	727,767
未払法人税等	445,251	160,966
賞与引当金	1,003,145	630,099
その他	1,033,820	1,306,364
流動負債合計	4,084,550	4,002,033
固定負債		
長期借入金	622,162	599,933
退職給付に係る負債	43,646	37,397
固定負債合計	665,808	637,330
負債合計	4,750,359	4,639,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	6,950,163	7,412,164
自己株式	△1,093	△1,252
株主資本合計	8,016,769	8,478,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,622	7,130
退職給付に係る調整累計額	100,102	—
その他の包括利益累計額合計	107,725	7,130
非支配株主持分	9,803	12,643
純資産合計	8,134,298	8,498,386
負債純資産合計	12,884,657	13,137,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	13,200,506	15,953,941
売上原価	10,393,455	12,476,439
売上総利益	2,807,051	3,477,502
販売費及び一般管理費	1,480,360	1,709,915
営業利益	1,326,690	1,767,586
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	273	390
受取保険金	2,002	—
助成金収入	14,804	13,039
その他	1,499	4,037
営業外収益合計	18,586	17,475
営業外費用		
支払利息	6,000	5,955
その他	—	261
営業外費用合計	6,000	6,217
経常利益	1,339,276	1,778,844
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,286
特別利益合計	—	1,286
特別損失		
固定資産除却損	0	1
退職給付制度終了損	—	363,811
特別損失合計	0	363,813
税金等調整前四半期純利益	1,339,276	1,416,317
法人税等	420,958	449,992
四半期純利益	918,318	966,325
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,568	2,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	916,749	963,486

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	918,318	966,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,576	△491
退職給付に係る調整額	△9,553	△100,102
その他の包括利益合計	△11,130	△100,594
四半期包括利益	907,187	865,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,619	862,891
非支配株主に係る四半期包括利益	1,568	2,839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	生産高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	6,102	121.1
ソフトウェア開発業務	9,188	123.3
ソフトウェアプロダクト業務	235	97.2
その他	151	106.9
合計	15,677	121.8

(注) 金額は、販売価格によっております。

② 外注実績

当第3四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	外注高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,422	126.2
ソフトウェア開発業務	3,799	119.1
ソフトウェアプロダクト業務	40	90.6
その他	0	109.9
合計	6,262	121.5

③ 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
商品販売	228	132.4

(注) 金額は、仕入価格によっております。

④ 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			
	受注高(百万円)	前年同期比 (%)	受注残高(百万 円)	前年同期比 (%)
S I サービス業務	6,725	116.6	2,616	133.1
ソフトウェア開発業務	9,576	122.1	2,327	121.0
ソフトウェアプロダクト業務	224	100.1	91	103.8
商品販売	271	126.2	36	150.9
合計	16,798	119.6	5,071	126.8

⑤ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	販売高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	6,102	118.5
ソフトウェア開発業務	9,188	123.3
ソフトウェアプロダクト業務	235	97.3
商品販売	276	125.0
その他	151	106.9
合計	15,953	120.8

(注) 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
㈱トヨタシステムズ	2,098	15.8	2,306	14.4